

麴甘酒の継続的飲用が 透析患者の便通改善に効果があることを 昨年に引き続き日本透析医学会で発表しました

八海醸造株式会社（本社：新潟県南魚沼市 / 代表取締役：南雲二郎）は、東京農業大学（樫村修生教授）・公立碓氷病院（管理栄養士：上原由美）との共同研究の成果を、第 63 回日本透析医学会（神戸：6/29～7/1）で下記 2 題を発表いたしました。

1. 透析患者に対する麴甘酒の便通改善効果の検証～第二報～

昨年の第 62 回透析医学会にて、麴甘酒 118 g を 3 ヶ月間継続飲用することで透析患者の便通が改善することを報告しました。今回の発表では、透析患者 13 名に麴甘酒 118g を 6 ヶ月間継続飲用してもらい、その後 3 ヶ月間の飲用中止期間を設けて観察しました。その結果、麴甘酒の飲用前の下剤内服率 69.2% が、飲用 3 ヶ月後には 23.1% に減少しましたが、飲用を中止すると 61.5% に戻りました。また、麴甘酒の飲用により、便が黄土色のバナナ状の健康便に近づき、便の消臭効果が認められました。

2. 麴甘酒の継続飲用は糖尿病透析患者の血糖及び体重増加に影響を与えるか

糖尿病透析患者 9 名に麴甘酒 118 g を 3 ヶ月間飲用してもらい、飲用前の 3 ヶ月間と飲用後の 3 ヶ月間のドライウエイト、透析間体重増加率、血糖値、グリコアルブミン、LDL コレステロール、中性脂肪、血清リン及びカリウム値の平均値を比較しました。その結果、いずれの値についても有意差は認められず、麴甘酒の継続的飲用は透析患者の血糖及び体重増加に影響を与えないことが示唆されました。

以上の様に、水分の摂取制限や薬の副作用によって便秘になりがちな透析患者様において、麴甘酒の飲用は血糖値や体重に影響を与えずに、便通改善効果をもたらすことが認められました※。この効果は、飲用を中止すると消えることから、麴甘酒の継続的な飲用が重要であると考えられます。同様の効果は健康人でも認められ、日本食品科学工学会第 65 回大会（東北大，8/22-24）及び第 70 回日本生物工学会大会（関西大，9/5-7）で発表いたします。麴甘酒は、古くから愛飲されてきた日本の伝統飲料です。弊社は麴甘酒メーカーとして、今後も麴甘酒の健康機能や医学応用などの研究を展開してまいります。



発表演題

第 63 回日本透析医学会（神戸：6/29 ～ 7/1）

発表演題

1. 透析患者に対する麴甘酒の便通改善効果の検証～第二報～

発表者

上原由美¹, 柳澤和美¹, 吉田泉², 安藤雅泰², 諏訪絢也, 檜村修生³

2. 麴甘酒の継続飲用は糖尿病透析患者の血糖及び体重増加に影響を与えるか

発表者

上原由美¹, 柳澤和美¹, 吉田泉², 安藤雅泰², 諏訪絢也, 檜村修生³

(¹ 公立碓氷病院 栄養科, ² 同院 腎臓内科, ³ 東京農業大学大学院農学研究科)

※糖尿病・透析患者様の実際の飲用にあたっては、主治医またはかかりつけ医へのご相談をお勧めいたします。

このリリースに関する問い合わせ先

株式会社 八海山 広報担当：浜崎 東京都中央区築地 4-5-9 築地安田第2ビル3階
TEL 03-6264-3366 FAX 03-6264-3367

